

地域福祉の充実をめざして、支える心のネットワーク！



赤い羽根共同募金

2017

9

SEPTEMBER



福祉ちば

編集・発行  社会福祉法人千葉県社会福祉協議会

No.175

特集

保育人材の確保・定着への取り組み

地域の福祉活動

[大網白里市]大網白里市社会福祉協議会 大網支部

エールちば

NPO法人歌友クラブ

福祉人材関連情報

「職場体験事業」から始める福祉のお仕事

県社協ニュース

ねりんピック秋田 2017 ほか

ご存知ですか？子ども食堂

TSUGA no わ こども食堂

保育士が継続して働ける職場環境づくり

全国の都道府県の中でも千葉県は保育所待機児童の数が多く、その解消が急務となっていますが、施設を新設しても保育士の確保が難しい状況になっています。そこで今回は、県内の認可保育所等で組織する千葉県保育協議会の圓藤弘典会長に、保育人材の確保・定着に向けた取り組みと、保育の質の向上についてお話をいただきました。



千葉県保育協議会 会長 社会福祉法人清水福祉会 清水保育園 園長 圓藤 弘典さん

待遇改善に地域間格差

保育士不足は全国的な社会問題ですが、千葉県では保育士の確保ができずに定員割れを起こしている保育園も出ています。

保育人材の確保について課題の一つとして挙げられるのは、都市部と郊外の地域間格差です。東京都では保育士の待遇改善のために、給与に上積みする制度を導入しており、県内でも市川市や浦安市などの都市部では給与の上積み等の改善策を実施しています。ところが郊外では

実施していない地域が多く、保育士が都市部に流れていくという状況が起きています。

さらに次々と新設される保育園が、保育士を多数、新規採用しているため、既設の園で確保が難しくなっている状況があります。

千葉県保育協議会では有資格者の増加や潜在保育士の再就職に関して、様々な取り組みをしているところです。

養成校の学生へのアプローチ

千葉県保育協議会が組織した「近未来保育研究所」では、養成校に出向いて就職説明会を主催するなど、人材確保の取り組みを積極的に進めています。園ごとにブースを設けて、それぞれの園の特徴などを説明しています。その際、学生のみなさんには「保育ボランティア」として各園を訪問することを勧めています。職場の雰囲気や肌で感じて、自分に合う就職先を選ぶことが大切だからです。



近未来保育研究所に所属している園は人材確保ができていますが、それは取り組みを通して、学生とコミュニケーションを交わし、学生が何を求めているか把握できることが大きいと思います。

私は保育の仕事の魅力について「将来を担う子どもたちを育てる、夢と希望を持てる仕事であり、人や社会に貢献できる、誇りを持てる仕事」だと思います。ですから保育士は学力や技術だけでなく、深い人間性が問われます。

保育士不足問題を解決するには、保育士が安定的・継続的に働くことのできる給与水準への処遇改善が不可欠です。



保育士が作詞・作曲をした歌を収めたCD

「森の保育」が職員も育てる

千葉県保育協議会では階層別、課題別に体系化した研修を行っており、保育士の質の確保を図っています。また、保育園を対象としてアンケート調査を行い、課題の分析・研究に努めています。

よその保育園に足を運んで、優れた取り組みを見て刺激を受けることも、保育士の知識や技術を高めることにつながります。当園と近未来研究所では、そのような機会をもつ研修を実施しています。

さらにひとりの職員が外部研修で学んだ知識を、園に戻ってから他の職員に伝えて浸透させることも、質の向上に欠かせません。その「伝える技術」を習得するための研修を当園では行っています。

また、当園で実施している「森の保育」は、子どもたちが自然体験から様々なことを学んでいく活動ですが、実は職員の技術向上にもつながっています。例えば、里山の中で子どもたちを見守る体験を通して、職員の目の届く範囲がどんどん広がるとともに、子どもの自由を確保しながら安全も確保できるようになります。

これからの時代を生きる子どもたちは、詰め込まれた知識よりも、課題を自分で見つけて解決する能力や、新しいものを創造する能力、他人と助け合える能



力などが求められます。そのような人間を育てるために、保育の質の向上が不可欠です。当施設でも、箸の使い方を早く覚えることより、好奇心を持つことや、自ら考えて取り組む力を養うことを大切にして日々の保育を行っています。

良好な人間関係を築く

私が園長を務める清水保育園は、ほとんどの職員が退職せずに60歳まで勤め、その後も継続雇用で65歳まで勤務します。そのため新規採用を頻繁に行う必要がありません。

職員が継続して働ける職場づくりのポイントは、まず休暇を取得できる人員配置です。子育て中の職員が気軽に学校行事やPTAに参加できるように、あるいは外部研修に参加できるように、定数以上の人員を配置し、フリーの保育士が休んだ職員の代わりに入ることができる体制を敷いています。

さらに職場の人間関係が良好で、お互いに言いたいことを言える関係が築けていることが挙げられます。園長の私は、不満も含めて職員の声を聴くようにしています。当園は職員の年齢の幅が広く、20~60代がバランス良くそろっています。若い世代だけに偏っていないことも、良好な人間関係につながっていると感じています。

保育士確保の一施策として

保育士不足が全国的な課題となっている中、本会では新たな保育士の確保、離職防止、潜在保育士の再就職支援を目的とした保育士修学資金等貸付事業を行っています。この事業は4種類の貸付資金があり、いずれも返還免除要件を満たせば、貸付金の返還は免除されます。

○資金種類、貸付対象者、貸付金額、返還免除要件

資金種類	貸付対象者	貸付金額	返還免除要件
保育士修学資金	保育士養成施設に在学する方	月額5万円(2年分が上限) 入学準備金20万円 就職準備金20万円 生活費加算※	卒業後等5年間保育施設等で就労した場合
保育補助者雇上費	新たに保育補助者を雇用した施設等	年額29万5千3円以内	保育補助者が保育士資格を取得した場合
未就学児をもつ保育士に対する保育料の一部貸付	未就学時をもつ保育士で再就職・育休復帰した方	月々の保育料の半額と2万7千円のいずれか低い方(1年分が上限)	引き続き保育施設等で2年間就労した場合
就職準備金	潜在保育士の方	40万円以内 ※1回限り	引き続き保育施設等で2年間就労した場合

※保育士修学資金では、生活保護世帯やそれに準じる世帯の方を対象に年齢・居住地に応じた生活費加算を受けることが可能です。
○貸付利率：無利率 ○連帯保証人：必要
その他貸付には詳細な要件がありますので、ホームページでご確認いただくか下記までお問い合わせください。

社会福祉法人千葉県社会福祉協議会 電話：043-244-2945

清水保育園の中堅職員に聞きました。

保育士の仕事の魅力・やりがい

金島紗央莉さん
入職10年目



私が保育園に通っていたころ、素晴らしい先生に出会ったことが、保育士になるきっかけです。その先生のおかげで、毎日がとても楽しく「保育園の先生になる」と心に決め、その夢を貫いて資格を取得しました。当園は職員同士の横の連携がスムーズなので、とても働きやすい職場です。私は現在子育て中ですが、休みを取得しやすく、周囲も理解があるので育児との両立もできています。子どもと接するとき心がけていることは笑顔を保つこと、目線を合わせて話すこと。「金島先生が大好きだから、私も将来保育士になりたい」と園児に言われたときは、保育士としてこれ以上の幸せはないと感じました。

小井戸悠乃さん
入職7年目



もともと子どもと遊ぶことが好きだったので、人の役に立つ仕事がしたいと考え、保育士になりました。子どもが一生懸命に何かに挑戦しているときに応援し、できたときに喜びを共有する瞬間は、うれしさが胸がいっぱいになります。そういった体験の積み重ねの中で、子どもから信頼感を得られたときは、保育士になって良かったと思います。また、子どもたちに「今日はこれをしなさい」と押しつけるのではなく、主体的に動けるような環境づくりは、保育士の大切な役割。難しいことですが、そのやりがいも感じます。体力、知力がりますが、楽しいと感じられる瞬間がたくさんあるのが、保育の仕事です。



「地域福祉座談会」を効果的に活用 住民のニーズを知り地域福祉に貢献!

小学校との交流

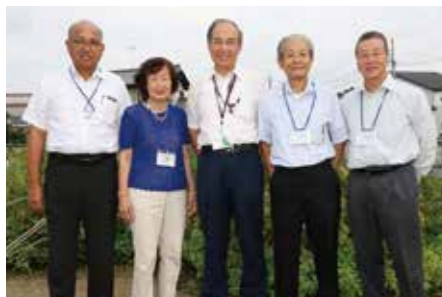
東部が太平洋に面し、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた大網白里市。大網白里市社会福祉協議会(以下、大網白里市社協)は、市内を5つのエリアに分けて支部を設置するスタイルで、地域福祉活動を行っています。今回ご紹介する大網支部は、昭和50年代から急速に宅地開発が進み、さらに、交通アクセスの向上などにより人口が急増。新旧の住民が混在するこの地域で、どのように事業を展開しているかお聞きしました。

区長会と連携して 事業を推進

現在、支部全体で行っている事業(「福祉教育推進事業」「見守り活動」など)が7つ、部会に分かれて行っている事業(「たすけあい」「広報」など)が5つと、精力的に動いている大網支部。

「大網支部では大網白里市社協はもちろん、民生委員、そして区長会と緊密に連携し、地域の福祉活動に取り組んでいます。これが他の支部との大きな違いであり、特長と呼べるでしょう」と、大網支部の後藤正義支部長。

特に区長会との繋がりは強く、年に1



大網支部のみなさん。中央が後藤正義支部長

度は定例会を開催しているほか、大網支部の主催事業にはスタッフとして参加してくれるよう呼びかけ、実際に多くの区長が参加してくれるそうです。

もう一つの特長は、93名もの理事(福祉協力員)が在籍していること。現在22の地区から成る大網支部は、地区の世帯数に応じた数の理事を出す仕組みになっているため、地区によっては10名もの理事がいるそうです。

胸襟を開いて話し合う 「地域福祉座談会」

大網支部の代表的な事業と呼べるのが「地域福祉座談会」(以下、座談会)です。座談会は平成19~21年度までの3年間は、千葉県社会福祉協議会の事業である「地域福祉フォーラム」として開催。平成22年度からは、「お茶でも飲みながら気楽に語り合おう」と、名称を座談会に変更して継続。以降、年2回(2地区)ずつ開催し続けています。

座談会の主な内容は、大網白里市協および大網支部の概要や、具体的な活動



防犯講習(ふれあいいきいきサロン)

内容について説明し、理解を求めるよう努めているほか、福祉や防犯などの専門家を招いて講演会を開いたり、参加者全員で地域福祉の課題などを話し合ったりもします。

座談会に関しては、「(大網支部が)一方的に動いても住民の理解は得られない」との考えから、あらかじめ区長に連絡し、協力を要請したり打ち合わせをするなど、事前に準備を整えた上で開催しているため、胸襟を開いて話し合い、互いの考えを知ることができる貴重な機会となっており、座談会を機に「ふれあいいきいきサロン」が立ち上がった例もあ



七夕飾り(ふれあいいきいきサロン)

るそうです。

すべての住民に優しい 地域づくりを

大網支部では「地域福祉座談会」以外の事業にも力を注いでいます。

その一つが「福祉教育推進事業」です。平成24年度から3年間、近隣の小中学校と大網支部がパッケージ指定を受けたことから始まり、高齢者とのふれあいが子どもたちの心の育成に役立つとの判断から、パッケージ指定終了後も継続。高齢者が学校に赴き、総合学習の時間に竹馬やけん玉など、10数種類の昔遊びを



見守り活動

一緒に楽しんだり、子どもたちには敬老会など高齢者が参加する事業の手伝いをお願いするなど、互いに協力しながら親睦を深め続けています。

「見守り活動」は「第3次大網白里町地域福祉活動計画」、通称「こすもすプラン」に基づき、平成21年度から体制が整った自治会から順次スタートさせ、翌年度からは全自治会で実施。65歳以上の一人暮らしの高齢者(大網地区は約200名)を対象に、月1回、自宅を訪問し安否確認をしています。

児童に対する見守りは、平成19年度から取り組んでいます。犯罪の抑止効果を高める目的で、腕章や帽子など、わざと目立つ見守り用グッズを作り、それらを着用して見守り活動をしています。この活動は犯罪の抑止はもちろん、高齢者の方々と子どもたちのコミュニケーションづくりにも役立っているとのこと。

現在、大網支部の地域内には、7カ所の「ふれあいいきいきサロン」(以下、サロン)があります。基本、月1回開催され、各サロンごとにカラオケ、手芸、ゲームなど様々な催しを企画し、訪れる高齢者を楽しませています。「大網支部のサロンの基本は、皆で集まりお茶を飲みながら楽しく交流することです」と、後藤支部長。しかし、サロンの数がまだまだ少ないとの考えから、機会があることに理事や区長に

呼びかけ、新たなサロンを立ち上げるために尽力しているそうです。なお、大網支部のサロンは横のつながりがとても強く、高齢者同士の交流が活発なのが特徴なのだとか。

その他にも学校や各種施設・団体との交流を行う「なかよし部会」や、広報誌の発行などを行う「広報部会」など、全部で5つある部会もそれぞれ活発に活動しています。

若い後継者の 育成を目指す

今後については、「地域の福祉活動には、若い後継者の力がどうしても必要なのです」と、後藤支部長。そのため、どうすれば若い方々が大網支部の活動に興味を持ち、そして参加してもらえるか、その方法を模索したいとのこと。

最後に、この取材で印象に残った後藤支部長の言葉を記しておきます。「福祉には上限が無いんです」と。



福祉教育推進事業

大網白里市社会福祉協議会 TEL 0475-72-1995

「サロン活動」に力を注ぎ 笑顔あふれる地域づくりを!

人口の急増(1970年代は約20,000人、2019年は約50,000人)に比例して、少子高齢化の波が押し寄せている大網白里市。そこで現在、私たちが力を注いでいる事業が、子どもたちと高齢者を対象とした「サロン活動」です。

まずは「子育てサロン」。地域の宝である子どもたちを、日々育てるお母さんがリフレッシュできる場所として、平成17年度に開設し現在は市内に4カ所あります。8月を除く月1回の開催で、開催日には各サロンに20組40名以上の親子が訪れています。15~20分という短時間で、栄養士や歯科衛生士のお話が聞けたり、美容師がお母さんたちに、子

どものヘアカットを教えてくれたり、栄養士の指導でお母さんたちがお昼ご飯を作り皆で食べたりと、サロンごとに内容は様々です。ボランティアの数が多いのも特長で、各サロンに7~8名はいるため、「子どもたち全員に目が行き届くので安心」という声をよく耳にします。今後の希望としては、現在、サロンを利用しているお母さんたちが、次のボランティアになってほしいですね。

「ふれあいいきいきサロン」は、平成13年度から設置を開始し、現在は市内に49カ所あります。しかし、高齢化の波は年々大きくなるため、今後も1年間に各地区1カ所設置という目標を掲げ、



大網白里市協のみなさん。左から3人目が高山義則会長

数を増やし続けたいですね。「ふれあいいきいきサロン」は、運営に関してはその地域の支部が主導ですが、新たに設置する場合、私たちが可能な限りサポートします。今後に関しては、現在は(基本的には)月1回の開催ですが、ボランティアの確保など難しい面をどうにかクリアして、開催回数を増やし、高齢者の居場所づくりに貢献したいと考えています。

※大網白里市人口: 50,092人 65歳以上人口: 14,781人 高齢化率: 29.5% (平成29年4月1日現在)

引きこもり防止や認知症予防につながる 「歌の力」で高齢社会を活性化しよう



NPO法人歌友クラブ 理事長 徳丸 壮也さん NPO法人歌友クラブ 副理事長 中山 珠代さん

千葉市に活動拠点を置く NPO 法人歌友クラブは、歌の力で高齢社会を活性化しようと、千葉市内を中心に歌声サークル活動を活発に展開。「歌えばハッピー! 歌っていい友!」を合言葉にして、独自に考案した「ナツメロ回想法」で認知症予防に取り組んだり、「歌声福祉士」を養成するなど、創意工夫に富んだ活動を紹介します。

みんなで歌って踊って リフレッシュ

千葉市内の高洲コミュニティセンターに20名ほどのシニア世代の市民が集まって歌声サークル活動「歌のカクラブ」が開催されました。主催はNPO法人歌友クラブ。月2回、定期的実施され、2時間に渡って抒情歌、歌謡曲、民謡などを歌います。歌うことが好きな高齢者の集まりですが、「健康維持のため」「友だちがほしい」など、参加目的は様々です。

前半の司会進行は法人の副理事長、中山珠代さん。NHKの東京放送児童合唱団（現在のNHK児童合唱団）に在籍してテレビ・ラジオに出演していた方で、よく通る美声の持ち主です。後半の司会進行は、理事長の徳丸壮也さん。多数の著書

を発表しているジャーナリストで、歌友クラブのオリジナル曲の作詞を手がけています。

参加者が輪になって、歌いながら踊る「千葉いちばん音頭」も徳丸さんの作詞。市の観光スポットや歴史、グルメなどのネタが詰まった、千葉市の応援歌です。作曲と振り付けは中山さんが担当しました。

18曲のプログラムを歌い終わるころは、全員の表情が晴れやかに。家族を介護しているという女性は「私の貴重なリフレッシュタイムよ」と言ってにっこり笑いました。

2,600人の 市民サポーターが参加

徳丸さんは2001年に、千葉市民に向けたタウン紙を創刊したことがきっかけで、市民活動に取り組むようになります。その実践活動としてカルチャー教室を主催し、高齢社会を活性化する方法としての「歌の力」に気づき、2006年にNPO法人歌友クラブを設立しました。

「市民団体は特定少数の組織になりがちですが、最初から不特定多数を対象にした開かれた組織を目指しました。サッカーのJリーグをお手本に、できるだけ多くの市民の参加を呼びかけました」と徳丸さん。

今年の8月末現在で正会員16名、市民のサポーター（賛助）会員は2,600名余りです。



NPO法人 歌友クラブ

これまで100万枚以上のチラシを自分たちでポスティングし、歌声コンサートを次々と開催してPRした成果だと言います。

歌友クラブの活動は実に多彩。まず冒頭で紹介したような会員制の歌声のサークル活動を、市内各地の公民館やコミュニティセンターで幅広く展開しています。歌の好みやレベルに合わせて選べるように「歌のカクラブ」「ナツメロクラブ」「熱唱クラブ」など3種類のクラブがあります。

一方で大規模なコンサートも定期的で開催して、一般市民を呼び込んでいます。そのコンサートの内容もバラエティ豊か。スクリーンに美しい映像を映し出し、アロマの香りを放って五感を刺激しながら歌うコンサートは好評を博しました。

会員相互の交流イベントも頻繁に開催。

親睦のためのバス旅行は年に2回実施しています。

「歌声福祉士」*1を養成*2

歌友クラブは認知症予防のための「ナツメロ回想法」を独自に考案し、実践しています。いわゆる懐メロには、ヒットした時代性と歌の舞台となっている場所の地

域性、それに季節感という3つの要素が含まれていることに注目。この3つの要素を考慮しながら、プログラムを組むことで若いころの記憶が蘇り、脳の活性化につながるかと考えています。

取材に伺った日のプログラムも、季節にこだわって選曲し、初恋の歌からだんだんと大人の恋の歌という順番に生まれ、思春期から大人になる一つの物語として構成されていました。

また歌うことは様々な身体機能の維持・向上や、「幸せホルモン」と呼ばれるドーパミンの分泌を促すこともわかっています。こういった歌の力を通して「脱介護」という健康長寿を目指しています。

歌友クラブでは、各地域で活動のリーダーを務めることができる「歌声福祉士」の養成に乗り出しました。昨年度は千葉県、今年度は独立行政法人福祉医療機構から助成を受けて、歌唱法やナツメロ回想法について学ぶ養成講座を開き、現在25名の歌声福祉士が認定されています。

歌友クラブが設立されて10年余り。中山さんは「表情の乏しかった方が豊かな表情を見せてくださるようになったり、無口だった方が積極的に会話されるようになったりという事例に日々出会えることで歌の力を実感し、やりがいを感じます」と言います。



歌声福祉士養成実習

また、歌声サークル活動が一人暮らし高齢者の居場所としての役割も果たし、仲間づくりの場にもなっていることも大きな成果です。

このような実績を踏まえて、徳丸さんは、さらに歌声福祉士が地域で活躍する協働体を組織し、歌友クラブのネットワークを全国的に展開する構想を立てています。「歌友クラブは高齢者が地域参加する入り口。みなさんと一緒に高齢者による高齢者のための高齢社会をハッピーにする活動を広げていきたい」と言います。

今後、歌友クラブの活動が、千葉市から千葉県内へ、そして全国へ広がっていくことが期待されます。

*1 NPO法人歌友クラブ創設の認定資格
 *2 独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業



うたとも歌のカクラブは発声練習はもちろん、体操や「千葉いちばん音頭」など、毎回盛りだくさんです



うたとも歌のカまつり（熊谷俊人千葉市長も出演） うたともバス うたとも文化祭出演 うたともチバラパレード うたとも歌のカクラブ

NPO法人 歌友クラブ 〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-1-1 TEL: 043-238-8180 FAX: 043-238-8005 URL: www.utatomo.com

大きな声で歌った後は気分もはつらつ、体調も上向きです！



体験者の感想

斉藤 猛さん

若いころからバンドを組んでドラムを担当していたので、音楽は大好き。5、6年前から参加するようになりました。最初は小さな声しか出なかったのですが、お腹から声が出るようになるにつれ、体調も上向きになりました。歌った後は気分もはつらつとします。地域のために何かしたいと、福祉施設を慰問してドラムを叩いています。

一人暮らしでも顔見知りが増え、仲間とのランチが恒例に！



体験者の感想

藤條 愛子さん

一人暮らしなので、人と会話する機会があまりなかったのですが、同じ団地の方に誘っていただいて、参加するようになりました。徳丸さんの司会が面白くて、いつも笑わせてもらっています。顔見知りが増え、今では月2回の開催日が待ち遠しくなりません。歌った後、仲間とランチを食べながらおしゃべりするの恒例になりました。

歌声福祉士として、さらに活動の幅を広げていきたい！



体験者の感想

磯谷 弘子さん

介護福祉士ですが、リラックスできる場がほしくて6年ほど前から参加するようになりました。中山さんの素晴らしい歌声に憧れ、少しでも近づきたいと頑張っています。「歌声福祉士」になるために講座を受講しましたが、とても面白い内容で勉強にもなりました。今後は歌声福祉士として、さらに活動の幅を広げていきたいと思っています。

興味があるなら体験してみよう! 「職場体験事業」から始める福祉のお仕事



「福祉の仕事に興味がある」「福祉の仕事に就きたい」。でも、職場も仕事内容も、まだよく理解できていない……。そこで活用したいのが、千葉県社会福祉協議会と千葉県福祉人材センターが実施している、福祉の「職場体験事業」（以下、職場体験）。今回は職場体験を「受け入れている」「参加した」「つなぐ役割を担った」三者に、それぞれ感想を語っていただきました。



これからの人生に必ず役立つリアルな社会体験に感動!

母が介護福祉士として働いているので、以前から福祉の仕事には興味があったのですが、他の施設の実情も見てみたいと思い、今回の職場体験に参加しました。

まだ1日目ですが、利用者の方々とふれあったり、介護福祉士や保育士など、様々な職種の方々とお話をできて、いろいろなことを学べたと思います。

私は看護師を目指しているので、実際に福祉の現場で働く看護師の方から、実務に関するお話が聞けたことは、大きな収穫となりました。

職場体験では社会に出たひとりの大人として扱われ、保護者や先生以外の大人と接し、様々な指摘やお叱りも受けましたが（笑）、これがとても良い刺激となり、今後、必ず自分の糧になると感じています。

わずか2日間ですが、このリアルな社会体験は、これからの人生に必ず活かせると確信しています。

体験した



千葉県立四街道高等学校
介護体験 小松 琴音さん

受け入れている



医療法人社団 暁会
保育・介護複合施設 かわみ
施設長 海沼 信彦さん

知識を得るより大切なのは 気付きを増やして帰ること!

「職場体験」を受け入れようと思った理由は、3年前からこの施設にボランティアに来てくれている四街道高校の生徒さんたちへの恩返しとして「進路選択のお手伝い」が少しでもできれば」という気持ちがありました。

この施設には、高齢者・子どもの利用者以外に、福祉系の職種はもちろん、リハビリ職、看護師、歯科衛生士、栄養士、保育士などの多職種の職員が働いています。また、周辺地域からは、保育園の園児～大学生・ボランティアさん・住民の方々が年間2,000人ほど訪れています。こうした様々な人々が集う現実社会に触れることのできる環境の中で、生徒さんには、出会いを通して、たくさんの気づきを持ち帰ってほしいと思っています。そして、この職場体験が福祉に興味を持つきっかけとなり進路選択の参考になれば幸いです。

今後も少しでも生徒さんの将来の夢の実現のお手伝いができるよう、日常から学校と施設のよりよい関係づくりに努めていきたいと考えています。



つなぐ役割を担った

千葉県立四街道高等学校
養護教諭
高野 直美さん

福祉の現場を体験すること それは社会の一面を知ること

以前からボランティアで交流している「きわみ」さんから「職場体験」のお話をいただいた時、大変うれしく思いました。

職場体験の前には、『どんなことを体験したいのか』希望を聞き、その希望を受け入れ先と相談することにより、夢を実現するためのオリジナ

ルな職場体験を計画していただくことが可能となっています。

生徒たちにとって福祉の現場を体験することは、すなわち社会の一面を知ることであり、自分の将来像を描ききっかけにもなると思っています。

学校生活の悩みや、乗り越えねばならない課題を抱えている生徒にとっても、学校以外の場所で自分の居場所を見つけること、自分が誰かのために役立つ喜びを知ることは、その子の生きる力となると感じています。

今後も生徒たちを学校から社会へつなぐ役割を担い、一人ひとりの成長を支えていきたいです。

職場体験事業とは

職場体験事業は、千葉県にお住まいで、福祉・介護の仕事に興味・関心を持っている方、県内の社会福祉施設（高齢・障害・児童・保育分野）などに就職を希望している方などを対象に、本体験を通じて実際の職場の雰囲気や業務等を直接知ることにより、求人側・求職側のギャップを埋め、円滑な人材確保の促進を図ることを目的としています。



ねんりんピック秋田大会が 開催されました!

今年も
千葉県選手団が
大活躍!!



第30回全国健康福祉祭あきた大会（ねんりんピック秋田2017）が9月9日から12日まで、秋田県内の17市町村を会場に開催されました。千葉県選手団は23種目に165名の選手が出場し、テニスでの優勝や水泳第3位、健康マージャン第4位など、今年も優秀な成績を収めました。期間中は、観客を含めて約52万人が参加し、秋田県内はねんりんピックで大いに盛り上がりました。来年は富山県で11月3日から開催されます。

種目	チーム戦	順位
テニス	3 km男子 70 歳以上の部	1 位グループ 優勝
水泳	混合メドレーリレー/フリーリレー 281 歳以下の部	第 2 位 加藤 義明 (南房総市)
	男子 50m/25m バタフライ 65 ~ 69 歳の部	第 3 位
	男子 25m 自由形 60 ~ 64 歳の部	準優勝 佐敷 定雄 (柏市)
	女子 50m/25m バタフライ 60 ~ 64 歳の部	準優勝 太田 直人 (松戸市)
健康マージャン	女子 50m 平泳ぎ 65 ~ 69 歳の部	優勝 杉沼 春美 (柏市)
	団体戦	第 5 位 西出 政子 (柏市)
		第 4 位 (優秀賞)

- 最高齢者賞 軟式野球/石丸 元旦 82歳(市川市)
美術展/米川 ヤエコ 81歳(茂原市)
- 高齢者賞 ゴルフ/長谷川 博之 81歳(成田市)、今泉 由紀子 68歳(浦安市)
ソフトバレーボール/柏原 晴子 79歳(木更津市)、八木 鈴子 80歳(君津市)
軟式野球/豊岡 勇 80歳(市川市)



秋田大会で千葉県選手団が出場した種目

①卓球、②テニス、③ソフトテニス、④ソフトボール、⑤ゲートボール、⑥ベタンク、⑦ゴルフ、⑧マラソン、⑨弓道、⑩剣道、⑪水泳、⑫グラウンド・ゴルフ、⑬ラグビーフットボール、⑭サッカー、⑮ソフトバレーボール、⑯フォークラリー、⑰太極拳、⑱軟式野球、⑲ダンススポーツ、⑳パークゴルフ、㉑囲碁、㉒将棋、㉓健康マージャン
※千葉県選手団の平均年齢は68.4歳
(最高齢は男性84歳、女性80歳)でした。

お問い合わせ先：地域福祉推進班 Tel 043-245-2208

千葉県福祉教育研究大会に222人



8月18日、淑徳大学を会場に「平成29年度千葉県福祉教育研究大会」を開催し、学校関係者、市町村・地区社協関係者など222名が参加しました。

全体会では、千葉県福祉教育推進連絡会議の松山毅議長（順天堂大学准教授）から本会と千葉県福祉教育推進連絡会議が共同で作成した「福祉教育を効果的に行うためのチェックリスト」について説明。このチェックリストは、学校や地域で取り組んでいる福祉教育の代表的な7つのプログラムをもとに、各プログラムに含まれる福祉教育的要素や見落としがちな視点を再確認してもらうことを目的と

して作成したので、学校や地域で活用してほしいとの話がありました。

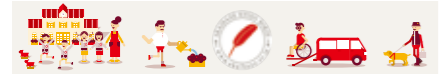
続いて行われた基調講演では、大阪教育大学の新崎国広教授が、障害者差別解消法を題材に、福祉教育・ボランティア学習との共通点や今日的意義について楽しく、わかりやすく解説。特に、共に生きる社会をつくるための3つのポイントとして、笑顔の大切さ、手をつなぐことの大切さとともに、「許されない失敗」と「許される失敗」があると、

「許されない失敗」とは、相手を見下す、人のプライバシーを侵害する、失敗を隠す、できもしない約束をして平気で破ることですが、「許される失敗」とは、相手を想い、一生懸命関わろうとした結果がうまくいかないことなので、失敗を恐れないことが大切と強調されていました。

午後は6つの分散会に分かれ、福祉教育推進校・推進団体として指定を受けた小・中・高校及び地区社協が3年間の取組みに関する実践発表を行い、学校と地域が連携して福祉教育を進める取組みについて熱心に研究協議が行われました。

お問い合わせ先：ボランティア・市民活動センター Tel 043-204-6010

赤い羽根共同募金



千葉県共同募金会からのお知らせ

平成29年度 赤い羽根共同募金 平成29年10月1日～平成30年3月31日まで

赤い羽根共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ。」です

昭和22（1947）年にスタートした共同募金運動は、今年70周年を迎えます。長年にわたりご協力いただいた寄付者の皆様、ボランティアの皆様にお礼申し上げます。皆様から寄せいただいた募金は民間の福祉施設・福祉団体、NPOやボランティア団体他、災害等支援やお住まいのまちの福祉に役立させていただきます。共同募金運動は今年度も10月1日から来年3月31日まで全国的に展開されます。これからも地域福祉の発展のため、共同募金へご協力くださいますようお願いいたします。



平成28年度 募金で実施しました



夏休み福祉体験教室（我孫子市）
視覚障がい者体験



ボランティア連絡協議会（勝浦市）
ほっとパーティー（交流会）の開催

詳しいつかいみちは「はねっと」に掲載!!

共同募金会では、赤い羽根共同募金に寄せられた寄付金を、毎年、全国のおよそ7万件の地域福祉活動や草の根のボランティア活動支援活動に助成しています。赤い羽根データベース「はねっと」では、こうした地域福祉活動を各市町村ごとに一つひとつ紹

介する取り組みをしており、寄付者の皆様により手軽にわかりやすく使い道を知っていただけるよう努めています。皆様のお住まいの地域では、どのように赤い羽根募金が活かされているのか、是非ご覧ください。
(<http://hanett.akaihane.or.jp/>)



皆さまに支えられて、共同募金は今年70周年

共同募金運動は、第二次世界大戦後、昭和22（1947）年に「国民たすけあい運動」として始まりました。戦後復興として第一回共同募金運動では、およそ6億円の浄財が寄せられ、現在では、時代の移り変わりに合わせてさまざまな地域の課題解決のための「じぶんの町を良くするしくみ。」として取り組んでいます。長年、運動に携わってきたボランティアの皆さま、寄付者の皆さまに、心より感謝申し上げます。



赤い羽根は小さなことをしています。たくさん

赤い羽根共同募金

あの人を、すべての人を、変えたい。

70th

平成29年度 赤い羽根共同募金ポスター

平成29年度 千葉県の募金目標額

740,000,000円

- 赤い羽根共同募金 470,000,000円
- 市町村歳末たすけあい募金 240,000,000円
- NHK歳末たすけあい募金 30,000,000円

募金目標額は団体・施設からの要望を受けて作成しています。皆さまの温かいご協力、よろしくお願いたします。

社会福祉法人 千葉県共同募金会

〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港4-3 県社会福祉センター2F
TEL:043-245-1721 FAX:043-242-3338
<http://www.akaihane-chiba.jp/>



地域の情報ひろば

平成29年度「健康と福祉のふれあいまつり」

- 日時：平成29年10月21日（土）午前10時～午後2時
- 場所：君津市保健福祉センターふれあい館（君津市久保3-1-1）
- 対象・定員：どなたでも
- 主催：健康と福祉のふれあいまつり実行委員会
君津市 君津市社会福祉協議会
- 内容：障がい者団体・ボランティア団体・地区社協・赤十字奉仕団等のパネル展示・活動紹介、模擬店・バザー、ステージ発表、各種相談・体験等
- 参加費：無料
- 参加方法：直接ご来場ください（申込み不要）
- 問合せ先：君津市社会福祉協議会 TEL:0439-57-2250
雨天時は、内容の変更または一部中止の場合があります。

第7回酒々井町ふくしチャリティーパークゴルフ交流大会

- 日時：平成29年10月21日（土）8:30開会式9:00競技開始
- 場所：しずいの森パークゴルフ場（印旛郡酒々井町墨1200番地）
- 対象・定員：一般参加：18歳以上で本大会の趣旨にご賛同いただける方
フレンドリー参加：初心者、高齢者、体の不自由な方など36ホールをプレーするのが困難な方
- 主催：酒々井町ふくしチャリティーパークゴルフ交流大会実行委員会
- 内容：一般参加：36ホールストロークプレー（男女別個人戦）
フレンドリー参加：9ホールまたは特設コースを体験的にラウンド
- 参加費：一般参加：2,000円 フレンドリー参加：1,500円
- 参加方法：所定の参加申込書にて、10月13日（金）までに大会事務局またはしずいの森パークゴルフ場へお申し込み。
- 問合せ先：<大会事務局>酒々井町社会福祉協議会 担当：久保
印旛郡酒々井町中央1-28-8
TEL:043-496-6635 FAX:043-496-5245

社会福祉施設 経営相談専門家相談カレンダー（平成29年度）

月	会計等（税理士・公認会計士）	労務等（社会保険労務士）	法律（弁護士）
10月	2日(月)・16日(月)	4日(水)・18日(水)	11日(水)・25日(水)
11月	6日(月)・20日(月)	1日(水)・15日(水)	8日(水)・22日(水)

◎要予約。一般相談・予約は☎043-245-4450 社会福祉施設経営相談室まで 秘密厳守・相談無料

赤い羽根共同募金運動「第15回ふれあい広場」

- 日時：平成29年11月19日（日）9:50～13:30（開会式9:50～）
- 場所：浦安市総合福祉センター（浦安市東野1-7-1）
- 対象・定員：どなたでも
- 主催：浦安市社会福祉協議会
- 内容：市内で活動するボランティア・福祉関係団体が日ごろの活動を多くの皆さんに知っていただくこと、相互活動について理解を深め、地域福祉活動へ寄与すること及び赤い羽根共同募金運動の啓発を目的として開催します。①バザー等の販売及び活動紹介②ステージイベント③赤い羽根PR
- 参加費：無料
- 参加方法：直接ご来場ください（申込み不要）
- 問合せ先：浦安市社会福祉協議会 担当：峰（みね）
TEL:047-355-5271

第43回（平成29年度）県民福祉セミナー

- 日時：平成29年11月14日（火）14:15～15:45
（※受付開始13:30/開場14:00）（予定）
- 場所：千葉県文化会館（千葉市中央区市場町11-2）
- 対象・定員：定員500名
- 主催：千葉県社会福祉協議会
- 内容：講演：「子どもの貧困～子どもを真ん中においた地域づくりを～」
講師：社会活動家、法政大学教授 湯浅 誠 氏
- 参加費：無料
- 参加方法：所定の参加申込書にて、11月2日（木）までにFAX等で下記までお申し込み。
- 問合せ先：千葉県社会福祉協議会 担当：川前・山口
TEL:043-245-1102 FAX:043-244-5201
E-mail:info@chibakenshakyo.com

平成29年度第2回福祉のしごと就職フェアinちば

- 日時：平成29年11月11日（土）13:00～16:00
- 場所：幕張メッセ国際会議場 コンベンションホールほか
（千葉市美浜区中瀬2-1）
- 対象・定員：福祉の仕事に就職を希望する社会人及び平成30年3月卒業予定の学生
- 内容：○社会福祉施設等との面談会
○相談コーナーの設置
- 参加費：無料
- 参加方法：事前申込み不要
- 問合せ先：千葉県社会福祉協議会 千葉県福祉人材センター
TEL:043-222-1294

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

平成29年度
全国200万人
加入!!

保険金額		年間保険料（1名あたり）	
ケガの補償	賠償責任	タイプ	プラン
死亡保険金		基本タイプ	Aプラン Bプラン
後遺障害保険金		天災タイプ※	350円 510円
入院保険金日額		（基本タイプ+地震・噴火・津波）	500円 710円
手術保険金	入院中の手術 65,000円 外来の手術 32,500円		
通院保険金日額	4,000円 6,000円		
特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額（保険金額）に同じ		
葬祭費用保険金（特定感染症）	300万円（限度額）		
賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円（限度額）		



- ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）
- 送迎サービス補償（傷害保険）
- 福祉サービス総合補償（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間：平日の9:30～17:30（12/29～1/3を除きます。）
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

ご存知ですか? こども食堂

TSUGAノわこども食堂

運営主体 TSUGAノわこども食堂
 連絡先 Tel 080-5037-7100
 フェイスブック <https://www.facebook.com/TSUGAノWa/>

- 開催日時：毎月1回金曜日（9月22日、10月27日、11月17日）
14：00～19：00
- 開催場所：千葉市若葉区西都賀3-17-11
- 参加費：子ども（高校生まで）100円、大人500円
※学生はボランティアをすれば300円



楽しく賑やかに
食事をしていたら、
苦手だった野菜も、
美味しく食べられるよう
になりました!



●地元企業の理解とサポートでオープン

平成29年6月18日、JR都賀駅から徒歩約3分の場所に、「TSUGAノわこども食堂」(以下、「こども食堂」)がオープン。そこに至る経緯は、代表を務める田中照美さんが、地元で福祉関連事業を展開し、その代表を務める竹嶋信洋さんに、「こども食堂」を開きたいと話したと



DIY作品にぬくもりを感じます

ころ、竹嶋さんがこの申し出を快諾し、全面的なサポートを約束。以降、田中さんは竹嶋さんから物件を借り、近所のママ友と一緒に改装。机、椅子、棚などもDIYで作り、オープンへと漕ぎ着けました。

地域の主任児童委員、保育士、学校の教師など、「本当に届けるべき子どもたち」を把握している方々。そして、必要と思われる子どもたちに配



ってほしいと、『こども食堂』の開催日時や連絡先を記した名刺大のカードを複数枚渡したそうです。それが功を奏し、初回から平均約60名が訪れるほど大盛況に。“届けるべき子どもたちに…”という思いはあるものの、実際には予約も不要で誰でも来られるとしているため、毎回予想以上に賑わってしまうそうです。なぜ限定しないのかとの問いに「『こども食堂』イコール(様々な)事情がある子どもが通う場所というイメージが付くと、来にくくなる子がいるでしょう(笑)」と田中さん。

●子どもたちの味覚に合わせて調理

『こども食堂』のメニューは田中さんが考え、ボランティアの方々と一緒に調理します。

当日のメニューは創作そうめんに副菜が2品。創作そうめんは一見すると冷やし中華のよう。タレも醤油とゴマの2種類から選べ、見た目も豪華な一品。



「野菜に関しては毎回大量の寄付があり、それですべて賄えます。肉や魚など鮮度が重要な

食材は、安全性を考慮してその都度購入しています。その費用には参加費を充てています」と田中さん。

寄付された食材の中には、子どもが苦手なモノもあるので、それらをどのように調理すれば、子どもたちが食べやすい料理に仕上げられるか、毎回頭を悩ませているとのこと。

●異国の料理に舌鼓!?

取材に訪れた日、入口のドアを開けて中に入ると、そこには約20～30人の若い外国人(ベトナム、ミャンマー、タイなど)の姿があり、少し驚いてしまいました。後に田中さんに尋ねたところ、都賀駅前にある専門学校の留学生と交流会を開いていたとのこと。

「将来的には、彼らに自国の料理を教えてもらい、それを振る舞う『世界のこども食堂』を企画しています」と、目を輝かせながら話す田中さん。近い将来、「TSUGAノわこども食堂」は、「広げよう。トモメシの輪!」という合言葉どおり、地域のみならず世界ともつながることになりそうです。



美味しい食事と明るい笑顔があれば、誰でも仲良くなれるはず♡

●届けるべき子どもたちに届けたい

オープン前、田中さんは“自分たちが真心込めて作る料理を、本当に届けるべき子どもたちに届けたい”との思いから、オープニングセレモニーにある方々を招待。ある方々とは、

FUKUSHI-JOB SEARCH
福祉のお仕事

千葉県福祉人材センター
TEL.043-222-1294

福祉のお仕事

<http://www.nw.fukushi-work.jp/>